

授業科目            器具Ⅱ（下肢器具Ⅰ）

【担当教員名】 坂井一浩	対象学年	2	対象学科	義肢器具自立支援学科
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】  
 下肢器具の処方と使用目的および対象者の個別条件を正しく理解するため、また、これらに合致した下肢器具の設計・製作・適合作業を的確に行えるようになるために必要な知識を習得する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O s>】

1. 下肢器具の関連用語、定義および分類について説明できる。
2. 下肢のバイオメカニクスについて説明できる。
3. 関連する疾患学について説明できる。
4. 下肢器具のバイオメカニクスと具体的な器具のデザインについて説明できる。
5. 義肢器具士の業務、求められる責任および態度について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	概論：用語と定義、下肢器具の使用目的と適合理論、分類、構成要素 ：下肢器具に係わる専門職の役割、義肢器具士の役割、医療面接、作業環境 ：下肢器具の供給（症例数と動向、支給体系制度、価格）	1	講義
		5	
		5	
2	足器具学：足部・足関節の機能解剖、足部のバイオメカニクス、立位・歩行 ：足部疾患と器具療法 ：足器具の臨床および製作工程	2	講義
		3,4	
		5	
3	短下肢器具学：足関節の機能解剖、足関節のバイオメカニクス ：足関節の機能障害と短下肢器具のバイオメカニクス ：主な短下肢器具のデザインと構成要素 ：短下肢器具の臨床および製作工程	2	講義
		3,4	
		4	
		5	
4	PTB短下肢器具学：長管骨の骨折と器具療法 ：PTB短下肢器具の臨床および製作工程	3,4	講義
		5	
		5	
5	膝器具学：膝関節の機能解剖、膝関節のバイオメカニクス ：主な膝器具のデザインと構成要素 ：膝器具の臨床工程	2	講義
		4	
		5	
6	長下肢器具学：足関節および膝関節の機能障害と長下肢器具のバイオメカニクス ：主な長下肢器具のデザインと構成要素 ：長下肢器具の臨床および製作工程	3,4	講義
		4	
		5	
7	まとめ		ディスカッション

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書	<器具学 第3版> <日本義肢器具学会監修 加倉井周一編> <医歯薬出版株式会社> <2007年・¥6,200-> <義肢器具のフェイス 第7版> <日整会・日本リハ医学会監修> <医学書院> <2007年・¥7,980-> <Biomechanical Basis of Orthotic Management> <P.Bowker, et.al> <Butterworth Heinemann> <最新 義肢器具ハンドブック> <三上真弘, 他> <全日本病院出版会> <2007年・¥7,000->			
その他の資料	単元ごとに必要な資料を配布する。			

【評価方法】 筆記試験、レポート課題、履修状況等で総合的に評価する。	【履修上の留意点】 並行して開講される『器具実習Ⅱ（下肢器具実習Ⅰ）』では実習を通じて技術を、また、本科目では理論を習得する。
---------------------------------------	--